



好きやねん湖東

湖東地区

まちづくり情報誌

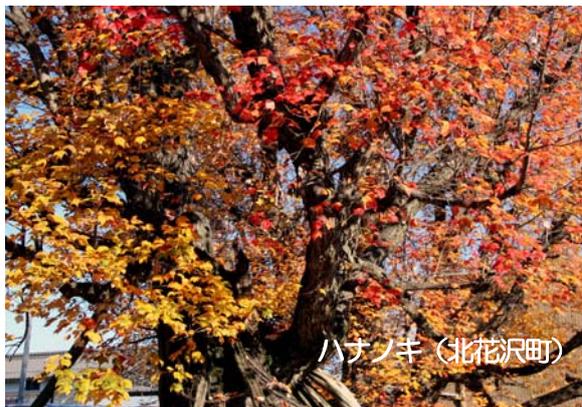
第54号

湖東・晩秋の彩り

今年も、湖東の各地では鮮やかな秋の彩りが、私たちを楽しませてくれました。しかし、もう初冬。これからはサザンカの花の季節です。(Photo by Nomura)



もみじ地蔵 (南菩提寺町)



ハナノキ (北花沢町)



天日神社 (勝堂町)



押立山山麓 (平柳町)



はたの親水公園 (小田町)

『20歳の集い』 実行委員を紹介



平成22年1月10日に開催が予定されている、『20歳の集い』を成功させたいという思いで、身近な人から声を掛け合って、実行委員会が結成されました。今回は、実行委員の皆さんの紹介をします。



西澤 芳史 (実行委員長)

「みんなが楽しんでもらえる『20歳の集い』、また20歳という人生の節目を迎えて、社会的な責任を自覚できる20歳の集いにしたいです」



小島 大祐

「一生に一度のことなので、みんなの心に残る素晴らしい『つどい』にしていくために頑張りたいと思います」



植田 裕巳

「とにかく楽しみましょう」



山田 真輝

「みんなが楽しく一生の思い出となる『つどい』にしたいです」



久保田 篤史

「人生で一度しかない成人式。みんなによかったと、思ってもらえるような良いものにしたいです」



稲葉 紗由香

「中学校の時は仲良くなかった友達とも喋れる雰囲気をつどいにしたいです。一生の思い出に残るものにしたい！」

先輩“かおりん”から 湖東という地を原点にして、人生のスタートを切る新成人のみなさんへ

故郷っていいものです。故郷ありきの自分であることを忘れず、これからも良い人生となるように、思い出いっぱい『20歳の集い』にしてくださいね。応援しています。

当日の内容は、懐かしい写真を集めてスライドショーを行うなど、楽しい企画をいっぱい計画中です。保護者の方も、ぜひ見に来て下さい。(Kaorin)

お知らせ

青少年健全育成標語 最優秀作品
「子は育つ 親と社会が 良い手本」

「青少年を育てる湖東のつどい」

- 日時 : 平成22年1月24日(日) 午後1時30分~午後4時
場所 : 湖東中学校 体育館
内容 : ○ 湖東中学校吹奏楽部によるオープニング演奏
○ 湖東支部活動報告
○ 「青少年健全育成標語」の表彰式
○ 映画「ヘレンケラーを知っていますか」の鑑賞

☆ 今後のインフルエンザの流行状況により変更もありえますので、ご了承下さい。

インフルエンザの影響により、11月8日開催予定であった「青少年を育てる湖東のつどい」を中止いたしました。その後、改めて協議した結果、インフルエンザ感染を考慮しながら開催することにいたしました。

住民のみなさんへは、全戸配布のチラシにより、改めて通知します。また、参加者名簿の提出を、各自治会役員を通してお願いしていますが、役員から参加要請の無かった方も、ぜひ参加して下さい。

特に今回は、この「集い」の場では初めての試みの映画鑑賞を行います。

この映画は、ドラマ「おしん」の主演「小林綾子さん」が主演で、老女の過去が少年を救う感動の作品です。青少年の育成に必要なことを何か感じていただけたらと思います。

まち協だより



各部会からの近況報告です！

☆子育て支援部会

11月12日(木)に2回目のプロジェクト会議を開きました。保育園、幼稚園、小学校、中学校が望む支援を提示していただき、それを元に話し合いを行いました。12月初めには、子育てボランティアのパンフレット作りを考えていく予定です。

☆環境部会

皆さんに紹介したダンボールコンポストですが、気温が低くなり分解が進みにくくなってきました。今後も工夫しながら実験を続けます。関心を持っておられる皆さん！来春から一緒に始めませんか。

☆明るい農業農村プロジェクト

プランターのイチゴ苗は、お元気ですか？

12月・1月の管理についてお知らせします。

○追肥は12月中に地表にまかれましたか？

まだの方は、早々に肥料をまいて下さい。

○水やりは冬場ですので土が乾けばやって下さい。

土が湿っているのに水やりを多くやると根腐りになり生育が一段と悪くなります。

○茶色く枯れた葉は、切り取ってください。

○この時期に間違えて咲いた花は、つみ取ってください。

【次回は、2月号でお知らせします】

(協力：マスタ園芸)



今回は、検診受診の発信地である湖東保健センターにて、子宮頸がんについてお話を伺いました。
 “子宮頸がん”とは、HPV(ヒトパピローマウイルス)を主な原因とする子宮の膣に近い部分にできる“がん”で、発症は30歳代から増加し始め、40~50歳代がピークになります。また、女性特有の“がん”として乳がんに次いで2番目に高い発症率だそうです。

これを防止するためには、HPVに感染する前の思春期の女兒にワクチン接種をすることで約70%が予防でき、がん検診との組み合わせで約95%が予防可能だそうです。

前回までに体験に基づき取り上げさせていただいた乳がんや子宮がん(体がん、頸がん)から、自分の命を守るために検診を受けることの大切さを改めて感じます。

最後に、保健センターの方からの言葉を伝えますね。

「東近江市で行った乳がん検診で、5年間に29人の方に“乳がん”が発見され、その7割が40歳、50歳代の方でした。各がん検診の対象年齢になるということは、“がん”の好発年齢になっているということなので、対象年齢となりましたら、必ずがん検診を受けてください」とのことです。

もしもの場合、辛い思いをするのは自分だけでは済まないのです。検診を受けることは、周りの方への思いやりにも繋がるのではないのでしょうか。(By Naomi A)

「乳がん・子宮頸がん検診」の無料クーポン券について

平成21年度の国の補正予算が成立されたことを受け、女性特有のがん検診推進事業が実施されています。

この事業は、女性特有のがん検診として「乳がん・子宮頸がん検診」の受診率を向上させることなどを目的に、単年度事業として一定の年齢の対象者に、検診手帳と無料クーポン券等を配布されているものです。

今回、無料クーポン券を受領の方については、ぜひ、この機会に受診されることをお勧めします。



地域の問題

「命の大切さ」学ぶ 平松町の「人権のつどい」



11月15日 平松町で「人権のつどい」が開催され、小さな子どもから大人の方まで、約50名の方が参加しました。今回は、『命を大切に』と題して、ボランティア「110番動物園」の主宰である、有城 覚(ありしろさとる)さんを講師に招いて講演がありました。

有城さんは、京都府警に在職していた頃から、府警に預けられる“迷い犬”などの動物を保護する活動をされており、その活動内容や動物を通しての体験談などから、「命の大切さ」を語っていただきました。

その中で印象に残った一部を紹介します。

「私が、今回のように講演に行った先のことです。ある兄弟が、私が持って行った生まれたてのヒヨコでキャッチボールを始めました。その時、ヒヨコが落とされて死んでしまったのです。その場で見ていた母親が血相を変えて私のところへ走ってこられ、当然謝りに来られたのかと思いましたが、『何で、すぐに死んでしまうもん、持って来るんや!』と言われました。生き物は『必ず死ぬ』だから『命を大切に』という事を子どもに伝えるのが、親の役目だと思うのですがショックを受けました。」など、とても印象に残る内容でした。

講演後は、有城さんが連れてきた『ヒヨコ』と触れ合うことができ、“命のあたたかさ”と“温もり”を参加者みんなの手で感じ取りました。

平松町では、マンネリ化しつつあるこの懇談会に、どのような形であれば、住民が積極的に参加してもらえると、知恵を出し合った結果、「講演」と「ふれあい」を同時に計画されたのです。

子どもたちは、『ヒヨコ』と触れることで『命』について考える良い機会になったことと思います。これからも、住民の方が一緒に「人権」について学べる集いを開催してください(^)(By 裕子)



有城 覚 さん



黒い?ヒヨコちゃん

「そうですね。この**をあげると綺麗な花が咲きますよ (^_^)」

困っているお客さんの相談にも適切なアドバイスを送ります。今回は、植物をこよなく愛するマスタ園芸の花咲かじいさん 増田 博 さんを訪ねました。

若い頃は、サラリーマン生活を送っていましたが、子どもの頃からの夢である「商売をしたい」という思いを捨てきれずに退社。また、商売には経験が必要であると考え、園芸の知識と店の経営感覚を身につけるために、種苗店で勤務しノウハウを習得した後、平成5年、念願のマスタ園芸店を地元で開店したのです。

この日も、店の前では、増田さんが心を込めて育てた花の苗が、『私たちはいかがですか?』って、語るように笑顔で出迎えてくれました。

「開店から16年目を迎え、当初は、ただ売っているだけの自分でしたが、今では、お客さんの笑顔を見ることが楽しみとなってきました」と、最近の心境の変化を話されます。

将来は、地区の皆さんと一緒に収穫祭ができる「園芸のマスタ王国」なるものにも、挑戦していきたいそうです。

最後に、「植物も人間も同じです。思いやりを持ち、愛情を込めて育てる気持ちが大切です」と、花咲かじいさんとしての思いを語っていただきました。

これからも、地域の皆さんに花作りのアドバイスをお願いします m(_)_m

(by K. N)

マスタ園芸

池庄町 2125-2

電話 45-3488 IP 電話 050-5802-0922

定休日：毎水曜日 営業時間 8:00~18:00



ぐるっと友達の輪!

Sayuka さん (西菩提寺町)

キュッ、キュッ、キュッ、“何ができるのだろう?”って思っていると、またたく間に“熊”のバルーンアートを作り上げてしまいました。

「はい、完成です。どうぞっ!」と、笑顔で私にプレゼントをしてくれたのが、今回、紹介するバルーン・パフォーマーの“さゆ”です。ステージ衣装で現れた彼女は、この日も、ドリーマーズの一員として、ある地区の秋祭りのステージに出演してきたようです。

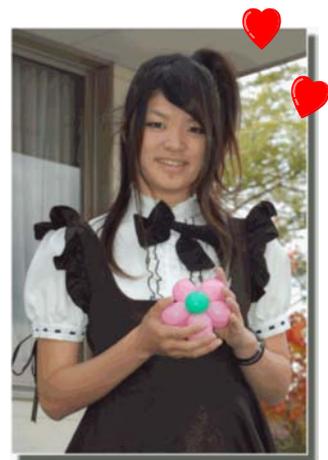
中学生の頃に、ゴム風船を使ったバルーンアートの魅力に目覚め、今では、小さな動物からキャラクターまで、約50種類が作れるそうです。

「バルーンは、笑顔を作れるんですよ。最初は皆さん、“割れるよ~”って、怖がる感じで見ているのですが、最後には、驚いたり、感動していただいたりして、会場が笑顔で、いっぱいになるんです」と、バルーンアートの魅力を話す。

また、彼女は、チーズケーキやゼリーなどのお菓子作りが得意という一面も持っており、機会があれば友達にご馳走しているそうです。(結構、好評だそうです。が、記者は、まだ食べたことがない・・・)

今は、子どもと正面から向かい合える保育の先生になりたいと、滋賀短期大学幼児教育学科に通う短大生です。

将来は、どこかの保育園で、“さゆ”を見かけるかもしれませんね。(by Nishizawa)



<編集・発行> 湖東地区まちづくり協議会

(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町 505 番地

東近江市 湖東支所 地域振興課内

TEL 45-3702 FAX 45-1570 IP 050-5801-3702

<http://members.e-omi.ne.jp/suki-koto/>

広報部ブログ <http://machikyo-koto.jugem.jp/>

<<お便りはこちらまで>> suki-koto@e-omi.ne.jp



クイズだよ!

<問題> 童話「花咲かじいさん」が、木にまいたのは、何ですか?

- 1 台所のゴミ
- 2 木の灰

正解者には、マスタ園芸店から「1000 円の商品券」を5名の方にプレゼントします。

応募方法： 官製はがき、FAXまたはメールで、答えの番号と、あなたの住所、氏名、電話番号、感想を記入の上事務局までお送り下さい。

締め切り： 1月12日(火) 必着